

1 日 時 平成31年2月22日（金）午後7時から午後9時

2 場 所 東淀川区役所 3階 304会議室

3 出席者の氏名

（東淀川区区政会議 魅力あるまちをつくろう！部会委員）

新庄 聡美議長、中井 まひる副議長、岩本 敬子委員、佐野 一廣委員、中村 由紀美委員
山口 啓行委員

（東淀川区区政会議 他部会委員）

村富 和広委員

（東淀川区役所）

西村地域協働まちづくり担当課長、古川保健福祉課地域協働まちづくり担当課長代理、
川上総務課長、吉岡窓口サービス課長、畠山総合企画担当課長、中島企画調整担当課長、
池辺保健福祉課担当係長 他

4 委員に意見を求めた事項

議題（1）平成30年度東淀川区運営方針 年度内振り返り

（2）平成31年度東淀川区運営方針(案)・平成31年度東淀川区予算(案)

（3）その他

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

○池辺係長 それでは定刻となりましたので、ただいまより平成30年度東淀川区区政会議第4回魅力あるまちをつくろう！部会を開催いたします。委員の皆様におかれましては、お忙しいところ、また夜間にもかかわらず、ご出席賜りましてまことにありがとうございます。本日の司会進行を務めさせていただきます東淀川区役所地域協働担当、池辺でございます。よろしくお願いたします。初めに地域協働まちづくり担当課長の西村よりご挨拶申し上げます。

○西村課長 皆さん、こんばんは。地域協働担当課長の西村です。

本日、お忙しい中、東淀川区区政会議魅力あるまちをつくろう！部会にご参加いただきまして本当にありがとうございます。

今日の区政会議は、平成30年度の運営方針の実施状況を、まだ年度終わってないんですけども、2月のこの時点で振り返りまして、それを踏まえて、来年度、平成31年度の運営方針につ

いても素案から案のほうへ修正してまいりたいと思います。この後、先ほど池辺からもありましたように、お手元の黄色のシートを使っていただきましてワークショップをしていこうと思っておりますので、また忌憚のない意見をお願いいたします。

それからもうお気づきのことと思いますけども、10月に実施しました区政会議のときにアンケートをしまして、皆さんから区政会議の資料が見にくい、わかりにくいとか、資料の量が多いというご意見が多数ございましたので、今回から運営方針については概要版のみの説明ということとさせていただきます。

また、3月19日に本会を開催予定しておりますけれども、そのときには部会は同時開催しないということになっていきますので、本日は意見をいただくとともに、本会での報告の内容までまとめていくというようなタイトなスケジュールの会議になっておりますので、何とぞご協力よろしくお願いしたいと思います。以上でございます。

○池辺係長 続きまして、本日の定足数を確認いたします。本日は、5名の魅力あるまちをつくろう！部会委員のご出席をいただきまして、出席者数が委員定数9名の半数以上でありますので、この会議は有効に成立していることをご報告いたします。また、本日は他部会より1名の委員がご出席されております。

本日の議事録につきましては、区政会議の委員の定数の基準及び会議録等の公表等に関する規則の規定に基づき、発言者ごとの氏名とその発言内容を記載した議事録により、後日公表させていただきますので、ご了承いただきますようお願いいたします。会議録案ができましたら、本日発言いただきました委員の皆様にご確認いただきたいと思います。次回、本会時にお渡しさせていただきます。

続きまして、お手元の資料を確認させていただきます。

まず、本日配付しております平成30年度第4回東淀川区区政会議魅力あるまちをつくろう！部会と書かれた本日の議事次第がありますでしょうか。以下、資料の確認はこの議事次第の配付資料の欄を見ながら確認させていただきます。次に、魅力あるまちをつくろう！部会出席者名簿及び配席図ということになっております。続きまして、2月初旬に郵送させていただきました資料をご持参いただいておりますでしょうか。右上に送付資料1と書かれております平成30年度東淀川区運営方針年度振り返り（概要）はございますでしょうか。

続きまして、送付資料2、平成31年度東淀川区運営方針（案）概要という資料です。送付資料3、区政会議委員によるアンケート結果、送付資料4、議事概要、10月31日本会、区政会議スケジュール、東淀川区区政会議部会別委員名簿、ここまでが送付資料ですね。

続きまして、当日配付資料といたしまして、資料の1、平成31年度東淀川区関連予算（案）概要、当日配付資料2としまして、先ほどの黄色い用紙になるんですけど、ワークショップ用の資料、当日配付資料3、区役所からの情報発信についてです。

あと、30年度の振り返りの資料1の2ページ目のところについて、お手元に差し替え資料を置かせてもらってますので、そちらが本日の最新版になっておりますのでよろしく願いいたします。

以上、特に資料の不足等はありませんでしょうか。それでは、ここから新庄議長に進行をお願いいたします。

○新庄議長 議長の新庄です。

それでは初めに、議題1、平成30年度東淀川区運営方針年度内振り返りについて、議題2、平成31年度東淀川区運営方針（案）、平成31年度東淀川区予算（案）について、区役所からご説明をお願いいたします。

○西村課長 地域協働まちづくり担当課長の西村です。

議題1・2の運営方針について、送付資料の1、平成30年度東淀川区運営方針年度内振り返りと、送付資料2、平成31年度東淀川区運営方針（案）に基づいて説明していきます。

東淀川区では、今年度、平成30年度の運営方針事業について、取り組みができたか、目標達成できたかという年度内振り返りを2月上旬に実施しました。そもそも大阪市では、3月中に年度内振り返りをして、新年度の4月に運営方針を策定し、5月、6月に前年度の自己評価を実施しています。

東淀川区では昨年度に引き続いて、区独自で一足早く年度内振り返りをいたしまして、4月からの平成31年度の運営方針に積極的に反映させるという即時性の高いPDCAサイクルをめざしていきたいと考え、2月での年度内振り返りを実施いたしましたので、今から説明申し上げます。

資料の1と2ですね。横長の資料を並べてご確認いただきたいと思います。

将来ビジョンに基づいて作成させていただいておりますので、1ページ目、平成30年度と平成31年度の運営方針は同じ構成になっております。

1ページ目に載っていますように、東淀川区の運営方針は、区の目標「住んでよかった、住み続けたい東淀川区」の実現に向けて、5つの経営課題を設定し取り組んでおります。

この魅力あるまちをつくろう！部会では、経営課題1、自助・共助を担う地域力とにぎわいのある元気なまち、それから、経営課題5、区民の役に立つ区役所があるまちについて議論してまいりますので、それぞれ1、2ページ、11から14ページを順にご覧いただきたいと思います。

まず、資料1の見方なんですけども、経営課題別になっておりまして、それぞれ一番左のほうですね、3から5年程度の中長期的な目標であるアウトカムを達成するために、検討項目別に今年度の取り組みの実施状況について具体的取り組み欄に記載しております。今年度の目標がプロセス（過程）指標と書いてありまして、そこに対する現時点での振り返り結果をその右

に記載しております。

次に、資料2についてですが、同じく経営課題別に、今度はめざす状態、アウトカム指標、戦略のとおり設定し、検討項目別に取り組んでまいります。来年度の取り組み成果をはかる指標としてプロセス指標を設定しております。それに対する来年度の具体的取り組みについて実施してまいります。

特に、太字下線つきの部分は、今年度の振り返りの結果や、今年度の区政会議での委員の皆様からのご意見を受けまして、今年度からの変更点について示しております。そのほかに太字のところがありますけれども、そちらは下線のない太字のほうは変更点ではなくて、キーワードの部分でございます。

それから、プラン2.0という囲みで書いてあるのが出てくると思いますが、これにつきましては、大阪市の市政改革プラン2.0の取り組みで大阪市全体として上げている目標になっております。区独自ではなくて、大阪市全体でこの目標を掲げておりまして、大阪市統一の数値もでございます。各区それぞれの前年度実績に基づいて設定している数値もでございます。平成29年度から31年度の3カ年で取り組んでいるものでございます。

それでは、個別に説明をさせていただきたいと思えます。

まず、資料1の2ページ目からご覧いただきたいと思えます。これから説明させていただきますことは、この後のワークショップにつながってきますので、今年度の取り組みですね、私のほうからできた、できてないという達成、未達成申し上げますけれども、その取り組みが十分だったかどうかというのをどこか、お聞きになりながら印をつけていただいております。また、来年度の取り組みの変更点、下線をつけてるところですね、その辺もそれが適切なのかなのかなということも、お聞きいただいて印をつけておいていただければ、後でワークシートを埋めるのに適当かなと思えます。

それから、指標につきましても、本当にこのパーセントでいいのかなということも聞いておいていただければありがたいかと思えます。

それでは、経営課題の1-1、2ページ目から説明させていただきます。経営課題1-1は、自助・共助を担う地域力のあるまちということで、平成31年度末までの目標をその下のほうに書いております。アウトカムのところですよ。平成31年度の末まで、ということは来年の3月末までにこの目標を達成しようということで、一つは地域活動協議会の情報が公表されているかどうかということで、現在17地域中5地域が公表されているということで、それを17地域に広げていきたいと。

それから、新たな担い手がふえたと感じている地域について、これはちょっと測定中で答えは出てないんですけども、6月の振り返りまでには数字が入ると思えます。

それから、地域保健福祉計画に取り組んでいる地域、現在17地域のうちの3つですけども、

これを17地域まで進めていきたいという目標を持っております。

右のほうにいていただきまして、検討項目の縦のところにございます地域活動への支援というところですけども、こちらのほうは地活協の構成団体、町会とかはぐくみとか民生委員会とかPTAとか、そういう構成団体が自分の地域に即した支援を受けていると感じた割合をとっておるんですけども、目標72%以上ということとっておったんですが、実際には62.8%ということで、これは未達成。一番右のところ未達成と書いてますが、そのようになっております。もっと本市の支援内容を発信していきたいと考えております。

それから、地活協を知っている区民の割合ですけども、これはちょっと今取りまとめ中ということで、また後日、振り返りのときには数字が入ってるかと思えます。

それから、地域づくりアドバイザーの支援に満足してるかどうかというところにございますが、これも65%以上を目標にしておりましたが51.7%で、もっとアドバイザーが積極的に地域に出向くようにということで考えております。

それから、コミュニティービジネスとか社会的ビジネスの創出2件以上というのがありますが、これも残念ながら1件ということで未達成なので、地域に事例の情報提供をしていきたいと思えます。

これをもう一つの資料2のほうで、運営方針、来年度どうするのかということで見ていただきたいと思えます。資料2の2ページです。

同じ段で見ていただいたらいいと思うんですけども、31年度、目標値がさらに上がってます。目標値を順次上げていくということとっておりますが、その中で、平成31年度運営方針として修正いたしましたのが、右の欄の太字下線のところです。地域カルテの活用や作成の支援をしていくということ、それから情報発信力の向上を支援するという、広報勉強会、SNSの講座をしていくということですね。

それから、その次が、SNSを初め、さまざまな媒体や庁内のスペースを活用、庁内、区役所の中のスペース、来られたときも何かポスターをいっぱい張ってるよねというのはご覧になったと思えますけども、そのスペースを活用して、もっと広報していこうというふうと考えております。

数字の修正がございます。資料2のプロセス指標のところの上から3つ目の枠の中なんですけども、地域活動協議会の構成団体が地域活動協議会に求めている総意形成機能を認識している割合71%以上となっておりますが、これ77%以上の間違いでございました。すみません、ご訂正のほうをよろしく願います。

それでは、資料1のほうの真ん中辺です。地域担当制による協働のまちづくりのところなんですけども、こちらにつきまして、地域担当職員による支援が役に立っていると考えている地活協のところはちょっと集計中になってまして、それから、地域を担当する職員の地活協の制

度などに対する理解度ということで、前からちょっと話題になってます職員にテストをしてもらうということで、66人が対象者なんですけども、100点満点は今回42人ということで、残念ながら100%達成できなかったということで、これも地域担当連絡会議などの場を利用して、もっと知識の向上を図っていきたいと考えております。これに関しまして、資料2の運営方針のほうの修正は特にしておらないところでございます。

次にその下、地域保健福祉計画への着手ということで、3地域で地域保健福祉計画に着手するというふうに決めていたんですけども、残念ながら1地域しか手を挙げていただけなかったということで未達成ということになっております。これにつきましては、地域連絡会議とか、地域社協の会長会議とか地活協の会議とか、そういうところでもまた地域のほうに手を挙げていただけるようにということで、こちらのほうからもお願いをしていくというんですか、周知をしていきたいと考えております。これにつきましても、運営方針のほうの具体的な変更はございません。

次、3ページ目でございます。経営課題の1-2で、にぎわいのある元気なまちのほうに移ってまいります。

こちらのほう、アウトカムは、東淀川区はさまざまな魅力を生かして多様な主体が連携したまちとを感じる区民が、平成31年度末までに70%以上になるということを目指していますが、今のところ29.5%ということで、なかなか来年大変だなということでございます。こちらのほうは見直しということで、魅力発見プロジェクトによる地域の魅力と人材発掘について力を入れていこうと考えております。この辺ちょっとまたパワーポイントで具体的な事例を説明させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

そのほか、効果的な情報発信や区役所庁舎を使った情報発信などをしていくということでございます。

それから、その次、検討項目の魅力あるまちづくりのほうなんですけども、目標の達成状況でいいますと、これはどちらも達成ということで星印になってるかと思いますが、達成しているということでございますが、さらに資料2のほうを見ていただきますと、太線下線で書いておりますように、区民まつりの支援ということで、実行委員会を中心に区民やさまざまな機関が連携し、地域の魅力発信や世代を問わず楽しめる場をつくっていこうと。それから、東淀川区みらいE X P Oの開催というのを新たに運営方針のほうに入れているところでございます。

とりあえず私のほうから以上でございます。

○新庄議長 ありがとうございます。

○中島課長 企画調整担当課長中島でございます。時間をいただきます。

3ページの一番下段のところ、区民による西部地域のまちづくりということでご参照願います。

資料2、それから3ということで、30年度、31年度並べていただきますと、まず具体的な取り組みとして、協議会（部会）の開催ということで30年度8回を予定しておりまして、おかげさまで8回実施することができたということ、それから、プロセス（過程）指標では、西部地域のまちづくりに参加した区民が、当該まちづくりが有効であるまたは必要であるとする割合が60%以上ということで、委員15名で回答は10名でしたが、70%ということで目標を達成したということでございます。

31年度につきましては、目標70%を達成しておりますので、70%以上という目標にしました。それで同じく具体的な取り組みとしては、協議会と部会を8回以上開催したいということで目標を設定しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○畠山課長 総合企画担当課長の畠山でございます。

私のほうから、資料1の11ページ、資料2の11ページをお開けください。

経営課題5-1でございます。区民ニーズを的確に把握し反映する住民参加型の区政運営という項目です。まさしく区政会議の部分がこれに当たります。

中長期的指標といたしまして、区役所がさまざまな機会を通じて区民の意見やニーズを把握していると感じる区民の割合が、平成31年度までに40%以上という形になってございます。これにつきまして、ここは未測定となっておりますが、速報値といたしまして39.7%と。前年の29年度が36.3%ということで、着実に40%に向けて前進しているというところでございます。

あと、日ごろからPDCAサイクルを意識して業務に取り組んでいる職員の割合というのが平成31年度までに85%以上というところでしたが、今回速報値といたしまして84.7%ということで、近づいてるようには見えるんですが、前年度が92.1%ということでちょっと後退しているということで、ここについてはしっかり職員に対して周知していかなければならないなと思っているところです。

あと、プロセス指標につきまして、ここに書いてます区政会議委員からの意見や要望、評価について、十分に区役所や委員との間で意見交換が行われていると感じる委員の割合が100%ということで、前年の数値が回収された部分だけ集めてますので100%ということになっていましたが、今回30年度については、できる限り集めるということで集めた結果、94.5%ということで未達成になってしまいました。これにつきまして、ご意見が多かったのが、わかりやすい資料の作成が必要だよねと。なおかつ、小さな文字量で内容を取捨選択して論点の明確化が必要だということと言われておりますし、平成31年度の目標についても、100%から96%と一定下方修正をさせていただきました。

運営についての委員アンケートや、会議を実施して改善に取り組むということで、未達成の項目について、資料2の具体的な取り組みの欄に書いてございます。運営について、委員アンケートや会議を実施して改善を図っていくと。論点が絞られたわかりやすい資料の作成を行っ

ていこうということで、それぞれ目標値の修正も、プロセス指標に掲載しているとおおり、96%という形でさせていただいております。

続きまして、その下の部分です。資料1のプロセス指標の下の部分、日常生活に関する相談や要望を行った際に区役所が区民に身近な窓口として適切に対応したと感じる割合が80%以上ということで、これについて、運営方針（案）の公表時期が2月14日ですが、速報値では70.3%ということになってございます。これについて、80%以上ということでまだ達成していない状況の中で、31年度、お手元の資料2のほうには82%としておりますけれども、今回速報値で達成していなかったということが判明しましたので、これについても、ご意見を伺いながら、80%ということで修正をするかもしれませんので、その辺については皆さんのご意見をいただきたいなと思っております。

続きまして、次のページ、それぞれ12ページをお開けください。

12ページにつきましては、経営課題5-2、伝えて、行動につなげる情報発信力の強化ということでございます。これにつきましては、中長期的な指標といたしまして、区のさまざまな取り組みに関する情報を伝えていけると感じられる区民の割合ということで、平成31年度までに50%以上を達成していこうというところでございます。

速報値については、これ未測定になってますけれども36.1%というところで、まだまだちょっと頑張らないかなというところです。

あと、プロセス指標の下のところ、資料1の下のところです。区役所の広報をきっかけに誰かに情報を伝えたり、自身の考えを見詰め直したりして必要な手続を行うなど何らかの行動を起こしたことがあると答える区民の割合が30%ということで、今回、区民アンケートで383名のうち21.7%ということで未達成となってしまいました。これにつきましては、取材記事の対象となった各事業の紹介するホームページに取材記事の内容を掲載して、より長期的に多くの方に向けて、行動につなげる広報の記事を発信していこうという視点、SNSフォロワー数の増加にも努めていこうと。

平成31年度の目標につきましては、30%から25%という形で修正を行っていこうということで、まだまだ21.7%という厳しい数字でございますので、一步一步進めてまいりたいなということで変更いたしております。

それにつきましては、資料2の下の段、12ページのところ、ホームページの活用であるとか、区民の自助、共助を促し行動につなげることができなかったことを十分検証していこうというところで記載しておりますので、またご議論願いたいと思います。

私からは以上でございます。

○吉岡課長 窓口サービス課長の吉岡です。

経営課題5-3についてご説明をいたします。

30年度の振り返りですけれども、快適、迅速、確実な窓口サービスの提供ということで、特に今年度につきましては、ちょうど真ん中あたりに具体的取り組みに書いてございますけれども、東淀川区のオリジナル婚姻届の継続実施ということなんですが、これは東淀川区は他の区に先駆けて、オリジナル婚姻届に着手して実践しておりましたが、吉村市長が、この取り組みは非常によいことだから全市的に取り組むべきということで、残る23区も今年度、新たにデザイン等公募されて、それぞれの区の実情に応じたオリジナル婚姻届の取り組みに至ったという経過がございます。

それとそのすぐ下に記念撮影コーナーの設置と書いてるんですけども、これは厳密に言いますと、3年ほど前に、よく有名な観光地に顔だけ中からのぞいて記念撮影を撮る式は既に設置しておったんですけども、大分老朽化が進んでおりましたから、今回リニューアルをいたしました。昨年、11月22日がいわゆるいい夫婦の日という語呂合わせになっておりますので、11月22日に合わせて、1階の、ちょっと場所がなかなかなかったの、トイレと横の通路のところの一角に、ちょっとコーナーの横ですね。あそこにちょっと鮮やかな色で若手職員さんのご協力もいただきながら、リニューアルを果たしたところでございます。そうしたことで、プロセス指標におきましては、待ち時間を快適に過ごせたと感じる方の割合が80%以上に対しまして、実績値は約90%で達成をさせていただいております。

31年度なんですけれども、これは我々の中でちょっと議論をいたしまして、アウトカムとプロセス指標をどちらがどっちというのがちょっとわかりづらいというのもありまして、アウトカムのほうが中長期的な、3年から5年のスパンというふうに我々も理解しておりましたので、ちょっと入れかえた形になっておるんですけども、31年度は民間の窓口サービスの平均的なレベル3.0以上をめざすというのをアウトカムの指標とさせていただいて、そこへ至るプロセス指標としては、従前行っております来庁者アンケートで、満足を感じていただける区民の方が80%以上という数値を引き続き維持していきたいというふうに考えております。

なお、31年度の新たな項目といたしましては、プロセス指標の上段、心地よい窓口サービスの提供や利便性の向上というテーマに関しまして、東淀川の井高野郵便局でありますとかコンビニ、こちらのほうでも住民票とか戸籍がとれますよというふうなことをもっと積極的にPRをして。なかなか東淀川区は広うございますので、遠隔の方ですね、わざわざ豊新の本区のほうまで、また、淡路の出張所のほうまで来ていただくのも遠い方もいらっしゃいますので、例えば井高野とか相川のほうにお住まいの方でしたら、井高野郵便局でもそういうことがとれますよと。また、コンビニは大抵のところにもございますので、コンビニのほうを利用いただければ、わざわざ区役所に足を運んでいただかなくてもサービスを提供できますよということをもう少し積極的にPRもし、それが結果、ひいては我々区役所とか市庁舎の混雑緩和にもつながるということで考えておりますので、サービス向上という観点からも、今後も進めてまい

りたいと考えております。

以上です。

○川上課長 総務課長の川上です。

運営方針の振り返りと31年度の運営方針で14ページをお開きいただけますでしょうか。

運営方針のほうのご説明につきましては最後になります。

経営課題の5ということで、区民の役に立つ区役所を担う職員づくりという項目になります。資料1の一番左になりますが、アウトカム、中期的指標につきましては、2021年度までに90%以上の職員が東淀川区発展のために尽力をしたい、東淀川区を今以上によくしていきたいと思う職員の割合でございます。こちらにつきましては、今年度に調べたところ、86.6%、321人のうち278人の者がそう思っていたということで、順調というふうに理解をしております。

検討項目といたしましては、2点ですね。着実、確実な事務処理を行うということと、主体的、チャレンジ意識を持った職員をつくっていくという2項目に分けておりまして、それぞれ具体的取り組み、着実、確実な事務処理につきましては10項目の取り組み、主体的、チャレンジ意識を持った職員づくりのほうにつきましては3つの取り組みということで取り組んでまいりました。

右から2番目のプロセス指標になるんですが、まず、着実な事務処理のほうなんですが、3つの指標を定めておりまして、個人情報処理の誤りをゼロ件にする、不適切事務処理の発生件数もゼロにするということで定めておったんですが、現時点におきまして、個人情報のほうが6件、不適切な事務処理のほうが4件発生しておりまして、どちらも未達成になっております。

昨年、29年度につきましては、個人情報のほうが9件で、不適切な事務処理のほうが5件ございましたので、昨年度よりは減っておるんですが、目標、指標には達していないという状況になっております。

そういった状況がありますので、資料2のほうの一番右端の具体的取り組みを見ていただきたいんですが、上から9番目の項目ということで、今までは他区のそういう不適切事例とかを参考に取り組むということでしてたんですが、実際それを実施しまして、各課のほうで改善の取り組みとか、それぞれ考えていただいて実施をしておるんですけども、なかなかゼロにはできないということで、他区で取り入れた改善策、その当区でも使えるもの、これを使っていきたいということで来年度の新たな取り組みにさせていただいておりまして、太字とアンダーラインをさせていただいております。

それと、制度所管課というふうに書いておるんですけども、制度所管、システムですとか、全市的な扱いをしているものがあるんですが、そういったものについても、システム改善でありますとか、マニュアルの改善でありますとか、そういった要望等も図りながら再発防止を図っていきたいというふうに思っております。

それと、また資料1のほうに戻っていただきたいんですが、下の主体的チャレンジ意識を持った職員づくりのところなんです、こちらプロセス指標としましては3点設けております。

覆面調査で接遇のマナーが民間の同種サービスと比較をして平均レベルということで、点数でいいますと3点になるんですが、その3点以上をめざしてございまして、平成30年度につきましては3.3点ございましたので達成になっております。ちなみに、昨年度につきましては3.2点でしたので、こちら若干上がっておるという状況でございます。

2つ目の区役所来庁者等に対しますサービスの格付結果ということで、こちらのほうは集計中ということになっております。

一番下の直属の上司にOJTをしてもらったと実感する職員の割合、このOJT、業務を通じての指導という意味なんですけども、こちらのほうにつきましては目標が90%だったんですが、実績は79.1%ということで未達成ということになっております。

資料2のほうに移ってほしいんですが、ここで一番下の主体的・チャレンジ意識を持った職員づくりの1つ目と2つ目は昨年度と同様のレベルをめざすんですが、3つ目につきましては、ここ一旦身近な目標にすることで達成を促そうということで、今ここ目標値修正で80%以上というふうにしておるんですけども、今年度の結果が79.1というところで、80%近くまで来ましたので、現在では今までどおりの90%に戻した上でめざしていこうかなと思っておりますので、今日、皆様のご意見をいただければなというふうに思っております。ちなみに、29年度は76.5%でした。

これを達成するために、職務デザインシートによる役割の明確化となっておりますが、これはそれぞれの職務に応じた役割を明確にして、それを年度初めに皆さんに伝えることで取り組みを進めていこうというものであります。係員でも3段階の職階がございまして、それぞれ役割を明確にさせるためのデザインシートというのをつくっておりますので、それを使って取り組んでまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○畠山課長 すみません、総合企画担当課長の畠山でございます。

一部ちょっと説明漏れがございましたので、お手元の資料1の3ページ、資料2の3ページをお開けください。

まちの魅力発信の部分でございます。これにつきまして、資料1のプロセス指標について、東淀川区の歴史やスポットについて知っている区民の割合というのが60%以上というところでしたが、アンケートによりますと32.1%ということで、これについては、まず転入されてくる方について、転入パックのチラシ内容を精査していく必要があるだろうなど。あと、区役所内の魅力あるスポットの紹介コーナーなどの設置も必要であろうということで、資料2の31年度案につきましては、若干目標値については下方修正しながらも、魅力あるスポット等について

チラシを転入者パックに同封し周知すると。あと、区役所内に魅力あるスポット紹介コーナーを設置すると。あと、大学等と連携し、区内のスポットをめぐるなどのイベントも実施して、そういった部分を盛り上げていこうということで31年度取り組む予定にしております。よろしくお願ひいたします。

○西村課長 地域協働まちづくり担当課長、西村です。

大分、時間押してきましたので、残り簡単にいかせていただきます。

最後15ページ、市政改革プラン2.0に基づく取り組みというのを資料1、資料2でございませうが、こちらにつきましてはちょっとご覧いただくということで、若干修正のところだけ申し上げておきます。

資料1のほうなんですけども、一番右のほうの一番下です。②の未測定というのがあるかと思ひます。未達成、未測定というやつですね。8番の項目なんですけども、こちらのほうが81.3%という数字が入りました。289団体のうち、81.3%の団体がオーケーということで認識しているということでございませう。

それから、同じく資料2のほうです。こちら一番下のほうで、目標値のところ80%以上という目標を立てておひますが、これ84%以上の間違いでございませう。こちらのほうも修正いたしたいと思ひます。

最後に、予算概要について、本当に簡単に申し上げたいと思ひます。

予算概要という資料をつけさせていたひておひませう。

東淀川区の来年度、平成31年度の予算でございませう。

下のほうに数字がございませうして、区長自由経費4億4,000万ということで、また、区CM(シティーマネジャー)の自由経費が9億1,000万ということでございませう。大阪市全体で非常に厳しい予算の状況ではございませうが、区長自由経費につきましては約250万円の減ということで、また、区CM自由経費につきましては3,100万円の増ということで、来年の予算を要求させていたひておひませう。

それから、次のページ、魅力あるまちに関係する重点予算でございませうが、一番上の区地域保健福祉計画の策定ということで170万円余り、それから一番下の西部地域のまちづくりということで370万円ということで予算の要求をさせていたひておひませう。

以上でございませう。

○池辺係長 すみませう、本日ご出席の府議会議員の方のご紹介をさせていただきます。

笹川議員でございませう。よろしくお願ひいたします。

○笹川議員 お世話になっておひませう。よろしくお願ひいたします。

○池辺係長 議員の皆様に関しましては、条例の規定により区政会議に出席し、必要な助言をすることができるとされておひませうるので、よろしくお願ひいたします。

議長、よろしくお願いいたします。

○新庄議長 ありがとうございました。

では、皆様から議題1、2についてご意見を賜りたいと存じますが、内容についてより活発に議論いただくために、今回は一旦部会を休会し、ワークショップによる意見交換をしていただきたいと思います。

ワークショップ用シート、この黄色のシートを使って進めてまいります。ワークショップのご意見ややりとりをまとめていただき、区政会議再開後、代表者より発表していただきます。

ここで区政会議魅力あるまちをつくろう！部会は一旦休会とさせていただきます。8時15分ごろに再開いたします。

(休 会)

○新庄議長 それでは、これより区政会議を再開いたします。

出された意見について、発表者の方からまとめて発表いただきます。

会議録のことがございますので、まず、お名前を名乗っていただいた上でご発言いただきますようお願いいたします。

では、中井さん、発表のほうよろしくお願いいたします。

○中井委員 公募の中井まひるです。

皆さんから出た意見について発表をします。

まず、広報についてなんですが、まずはこれだけ年数がたって、地活のことを知らないという方がまだまだ60%いらっしゃるということで、地活とは何というところをもっと発信していきたいなと思っております。例えば取材内容を動画にまとめたものを流すであったりだとか、転入者パックのところ、自身がどこの地活に所属をしていて、地域のこと、まちのことを聞くには誰に聞いたらいいんだというところまで、可能であれば深掘りできるとよりいいのかなと思いました。

2つ目は、少ないながらも東淀川区における実績を成功事例として、隣の地活、隣の隣の地活といったように地活同士の連携を持って、1つの事例をまねしていくというようなところにも取り組んでいけたらいいかなというような意見が出ました。

以上です。

○新庄議長 中井さんより皆さんから出たご意見を発表いただきましたが、本会で議事報告する案件についてお伺いいたします。

先ほどの広報活動について、それと実績、成功事例についてということで要約させていただけたらと思います。よろしいでしょうか。ありがとうございました。

では、本会で議長報告する案件として、その中でも一番ご意見の多かった地域活動はどういうことだ、地域活動への広報を中心に報告させていただきたいと思います。

皆様からご意見がありました。が、区役所よりご意見や補足、反映する対応方針などをご説明いただけますでしょうか。

○畠山課長 総合企画担当課長の畠山でございます。

先ほどのご意見、要は地域活動協議会とは何というところから、いろんな実績を共有していくということ、まさに情報発信が非常に大事だと思っております。この点につきましても、後ほど私のほうから本会に向けてのお話もさせていただきたいと思っております。

先ほど議長のほうから議長報告というお話がありましたが、今回につきましては、ワークショップの部分につきましても区役所参加して話を聞いておりますので、できる限り今回、本会議もできたら皆さんの部会ではなくて、横の連携を図るような意見交換をしていただきたいということで考えておりますので、区役所のほうから本日の内容については本会のときに発表させていただきますので、その点よろしく申し上げます。

○新庄議長 ありがとうございます。

ご出席の笹川議員のご助言をいただけますか。お願いできますでしょうか。

○笹川議員 今日いろいろとご議論をいただきましてありがとうございます。

私も、地域活動協議会というものが地域の活性化にもっともっと貢献をしていただきたいなと思っておりますし、今でもしてはいただいているんですけども、さらにしていただきたいなという思いを持っております。

そのためには、地域活動協議会同士の連携というものもさらに今以上に深めていただいて、より大きなパワーとなって地域の魅力を高めていっていただきたいなと思っておりますので、ぜひ皆様、地域にも根差していただいておりますので、そのあたりも意識していただいて。本当に小学校区単位で生活をしているわけではないと思うんです。なので、ちょっと視野も広げながら、これまでと価値観がちょっと違うかもしれませんけども、新しい動きとしても取り組んでいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

○新庄議長 ありがとうございます。

今回の部会でいただきましたご意見を踏まえ、区役所で平成31年度運営方針について再度検討されるということです。

次回3月の区政会議本会で、修正後の内容について確認してまいりたいと思っております。

時間も迫ってまいりましたので、この辺で終わっていきたく思います。

最後に議題3、その他について、区役所からご説明をお願いいたします。

○畠山課長 総合企画担当課長の畠山でございます。

送付資料の3、区政会議委員によるアンケート結果をご覧ください。

これは、前回10月31日の本会にて皆様に配付させていただいたアンケート結果でございます。ご協力ありがとうございました。

その中で、10ページをご覧いただきたいと思います。

10ページの問い9は、本日の本会は部会別ではなく、くじで割り当てられた班で意見交換していただきましたが、ご感想をお書きくださいということで、満足、おおむね満足という方が全体の96.7%を占めておまして、記載しているとおりの、いろんな意見も承っております。このアンケート結果を踏まえまして、3月本会議については、共通テーマとして区役所からの情報発信ということで、前回同様、部会別ではない班構成でご議論いただきたいなと思っております。先ほど意見でも出ましたとおりの、広報の重要性ということでこの部会でも問われてますので、まさしくこういう機会に横の連携、部会同士の連携もとっていただければなと思っております。

当日配付資料3、区役所からの情報発信についてもご覧ください。これにつきまして、次の本会までご自宅で記載して、本会に持参していただきたいと思っております。

中身についてご説明します。

まず、東淀川区役所の広報メディアということで、広報紙であるとかホームページ、SNS、それぞれツイッター、フェイスブック、LINEと、あと、その他としてユーチューブ、動画の話も中井まひる委員から出てましたけども、そういった部分もツールとしては備えておるといところですが、あと広報板ですね、こういった使い方についてもご議論願いたいと思っております。

裏面が、区役所からの情報発信について、これは非常に役に立った、いい感じだなと、もっとこういうことをしたらいいのになというようなことを上に意見としてご自宅で書いていただいて、あとは下の部分、ここはもうちょっと足りないよね、充実させたほうがいいよねというところ辺、先ほどのご意見もありましたとおりの、地域活動協議会の横の連携の部分をもうちょっと紹介してみたらどうかというところも言われてますので、そこも検討材料かなと思っております。そういったのも書いていただきまして、本会に持参していただいて議論していただくという形をとりたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

これについては、いただいた意見については区役所で集約いたしまして、施策に反映できるものは取り入れて、来年度上半期の区政会議の場でも皆様にフィードバックしていきたいなと思っております。

続きまして、今後の区政会議の運営につきましてご説明いたします。

送付資料4の4ページをご覧いただきたいと思います。

送付資料4の4ページには、区政会議のスケジュールが書いてございます。ここでちょっと訂正をお願いしたいのですが、2月14日の健康・福祉部会につきましては、健康・福祉部会学習会としての開催になっております点、ご変更願いたいと思います。

あと残すは26日の安全・安心部会というところで部会が終了となるという形ですが、3月19

日7時から9時ということでは、本会として区役所からの情報発信等の意見交換をできるだけ長く時間をとっていききたいなと思ってますので、議題としては運営方針の案の修正版と予算という形でやっていききたいなと思っております。

私からは以上でございます。

それと、3月11日が、今回の本会に向けての議長副議長会議が予定されておまして、これが304会議室で、この会議室で開催予定です。議長、副議長以外の委員の皆さんもどなたでも参加できるということですので、これはざっくばらんな会になりますので、公開等ございませんので、時間の許す方は3月11日19時から、議長副議長会議、来ていただいても結構かなと思ってますので、よろしくお願ひします。

私からは以上でございます。

○新庄議長 本日の本会での議事は以上になります。皆様ありがとうございました。

ここからは進行を事務局にお渡しします。

○池辺係長 参加の委員の皆様ありがとうございました。

毎回ご案内しておりますが、委員の皆様につきましては、本日の会議の議論内容を各地域活動協議会や所属の団体等でご説明いただきまして、各地域等からの意見をまたこの区政会議にフィードバックしていただきますよう、よろしくお願ひいたします。

なお、地域活動協議会の会長様には、先日、同じ資料をお渡ししております。

これをもちまして、平成30年度第4回区政会議魅力あるまちをつくろう！部会を閉会いたします。本日はご協力ありがとうございました。